

震災の記憶を語り継ぎ、 今、陸前高田から考える

本プログラムは、第4回国際学生フォーラム(3月7日～16日、グローバル教育センター主催)との合同で行われ、新たにスミス大学、マウントホリヨーク大学が加わり、海外7か国9大学から学生を招いて実施されます。

また、3月12日14時から、13日10時より同会場にて海外大学生による第4回国際学生フォーラムが行われますので、合わせてご参加ください。

日時:2015年3月10日(火)

午前10時～午後5時30分

場所:お茶の水女子大学

共通講義棟2号館102室



《プログラム》

午前:実習参加学生からの報告

10:00～ 開会

10:10～ 実習参加学生の報告

11:50～12:10 質疑応答

午後:ゲストスピーカーによる講演と討論

13:30～ 開会

13:40～ 「お茶の水女子大学の陸前高田実習」

14:00～16:30

實吉(みよし)義正さん(陸前高田観光物産協会副会長)

佐藤一男さん(陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長)

三井俊介さん(特定非営利活動法人 SET代表理事)

16:40～17:30 全体討論

◇ゲスト紹介◇

實吉さんは、震災の記憶を伝える力強い語り部として全国を飛び回っています。

佐藤さんは、津波の最高到達点に桜を植える桜ライン311の副代表でもあり、SNSで日々のメッセージを発信しています。

三井さんは、まだ20代の若さですが、震災を機に陸前高田に住み着き、地元の人と協働しながら、新たな豊かさを生み出すことをめざして活動しています。



【参加申し込み・問い合わせ】 参加自由(午後の部のみの参加も歓迎します)
※なお学外から参加される方は、氏名・所属・連絡先を明記のうえ下記に申込みをお願いします。 グローバル文化学環 global@cc.ocha.ac.jp